2025年度　経済科学部　卒業研究評価基準(ルーブリック)　経済情報学科(脇谷ゼミ「卒業論文」)

学士力の項目	評価項目	評価指標					得点
		5点	4点	3点	2点	1点	
知識と技能	①テーマの設定	問題の所在を明確にするテーマを適切に設定できている。	概ね適したテーマが設定されている。	テーマ設定が要を得ている。	研究内容に照らしてやや不適切なテーマが設定されている。	研究内容に照らして全く不適切なテーマが設定されている。	
	②形式性	分量・体裁など，卒業研究として認められる形式を十分に満たしている。	分量・体裁など，卒業研究として認められる形式を概ね満たしている。	分量・体裁など，卒業研究として認められる形式をある程度満たしている。	分量・体裁など，卒業研究として認められる形式に不十分な点がある。	分量・体裁など，卒業研究として認められる形式を満たしていない。	
	③引用・参考文献	引用方法，引用箇所と文献との対応，表記方法など全てが適切である。	引用方法，引用箇所と文献との対応，表記方法などが概ね適切である。	引用方法，引用箇所と文献との対応，表記方法などに誤りがいくつか認められる。	引用方法，引用箇所と文献との対応，表記方法などに不適切な箇所がある。	引用方法，引用箇所と文献との対応，表記方法などが不適切である。	
	④総合性	経済科学部での学修を総合した考察が十分になされている。	経済科学部での学修を総合した考察が概ねなされている。	経済科学部での学修を総合した考察がある程度なされている。	経済科学部での学修を総合した考察としてはやや不十分である。	経済科学部での学修を総合した考察がなされていない。	
思考力・判断力・表現力	⑤問題意識	問題意識が極めて明確である。	問題意識が明確である	問題意識がある程度明確である。	問題意識がやや不明確である。	問題意識が不明確である。	
	⑥理解・分析	問題の所在，要因や影響等の考察が十分になされ、多角的な分析が十分に行われている。	問題の所在，要因や影響等の考察が概ねなされ、多角的な分析が概ね行われている。	問題の所在，要因や影響等の考察がある程度なされ、多角的な分析がある程度行われている。	問題の所在，要因や影響等の考察に不十分な点があり、多角的な分析があまり行われていない。	問題の所在，要因や影響等の考察がなされず、多角的な分析も行われていない。	
	⑦表現・解決	統一された形式で論理的展開が適切に行われ、結論を明確に呈示することができている。	統一された形式で論理的展開が概ね適切に行われ、結論を概ね呈示することができている。	統一された形式で論理的展開がある程度適切に行われ、結論をある程度呈示することができている。	統一された形式で論理的展開があまり適切に行われておらず、結論が曖昧である。	統一された文体で論理的展開が適切に行われておらず、結論を呈示できていない。	
多様な人々との協創	⑧主体性	卒業研究に十分に主体的に取り組んだ。	卒業研究に概ね主体的に取り組んだ。	卒業研究にある程度主体的に取り組んだ。	卒業研究にあまり主体的に取り組んでいない。	卒業研究に主体的に取り組んでいない。	
	⑨協働・協創	他者と積極的に協働・協創しながら卒業研究に取り組んだ。	他者と概ね積極的に協働・協創しながら卒業研究に取り組んだ。	他者とある程度協働・協創しながら卒業研究に取り組んだ。	卒業研究にあたって他者とあまり協働・協創しなかった。	卒業研究にあたって他者と全く協働・協創しなかった。	
	⑩成長性	取り組みを通して，興味・関心の拡大等の成長が大いに認められる。	取り組みを通して，興味・関心の拡大等の成長がかなり認められる。	取り組みを通して，興味・関心の拡大等の成長がある程度認められる。	取り組みを通して，興味・関心の拡大等の成長があまり認められない。	取り組みを通して，興味・関心の拡大等の成長が全く認められない。	
合計点(50点満点)							